

主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「ホザナ」

「私たちは一つ」

「御名を掲げて」

「主は良いお方」

「イエスに栄光あれ」

献金

牧会祈禱&主の祈り

宣教支援献金

聖書朗読 マタイ福音書21章1節～10節
中川真実

メッセージ 「この人は、誰なのか」関真士牧師

賛美 「まぶねの中に」 讚美歌121

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって
一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週 教育館2階)初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日の礼拝では、宣教支援献金が持たれます。祈りと献金をもって、それぞれの働きに参加しましょう。
- 今週の水曜日は「灰の水曜日」です。受難節が始まります。「受難節 黙想の手引き」が配布されています。どうぞご利用ください。ウェブページから見ることもできます。
- 今月の連合アワー 毎日曜日8:15AM KZOOラジオAM1210は、関牧師の担当です。
- フルーとコロナが流行っています。うがい手洗いを励行して予防に努めましょう。
- HCCカレンダー 若干在庫があります。
- 本日12:30pm～ 執事会があります。

献金



風の吹くままに

▼星野優さんは、聖書学院の基礎訓練コースで学んでいますが、この3月の卒業後は、LAに本部のあるJCFN(Japan Christian Fellowship Network)でインターンシップを受ける予定です。

JCFNは、在米日本人宣教、帰国者クリスチャン宣教を専門とする宣教団体です。ホノルル教会とも深いつながりがあり、多くの者たちが、JCFNの働きを通して恵みを得ています。

星野優さんは、インターンシップ後、出来るならばJCFNの協力主事としてカリフォルニアで働きたいと願っています。

優さんは、そのためのファンドレイジング中ですが、現在4分の一が満たされています。円安の中、なかなか厳しい状況です。どうぞ、すべての必要が満たされるようにお祈り、献金をよろしくお願いします。



関真士牧師
sekishinji89@gmail.com

2023年度聖句

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。ヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①今日は「棕櫚の主日」です。水曜日から受難節に入りますが、それぞれの今年の受難節への思いを分かち合ってみましょう。

②イエスは、群衆の期待を裏切っています。私たちもイエスに対する期待が裏切られたことがありますか？ その時、あなたはどうでしたか。

③ホザナの叫びがイエスを罵る叫びに変わることなく、ホザナと賛美し続ける者でありたいと願います。

マタイ21章1節～10節

さて、一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとへのテパゲまで来たそのとき、イエスはこう言って、二人の弟子を遣わされた。「向こうの村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばが繋がれていて、一緒に子ろばがいるのに気がつくでしょう。それをほどこいて、わたしのところに連れて来なさい。もしだれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐに渡してくれます。」このことが起こったのは、預言者を通して語られたことが成就するためであった。「娘シオンに言え。『見よ、あなたの王があなたのところに来る。柔和な方で、ろばに乗って。荷ろばの子である、子ろばに乗って。』」そこで弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろばを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。すると非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。「ホサナ、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。」こうしてイエスがエルサレムに入られると、都中大騒ぎになり、「この人はだれなのか」と言った。

引用聖句
ゼカリヤ9章9、10節
マタイ26章52節
マタイ27章20節～23節

ホノルル キリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822

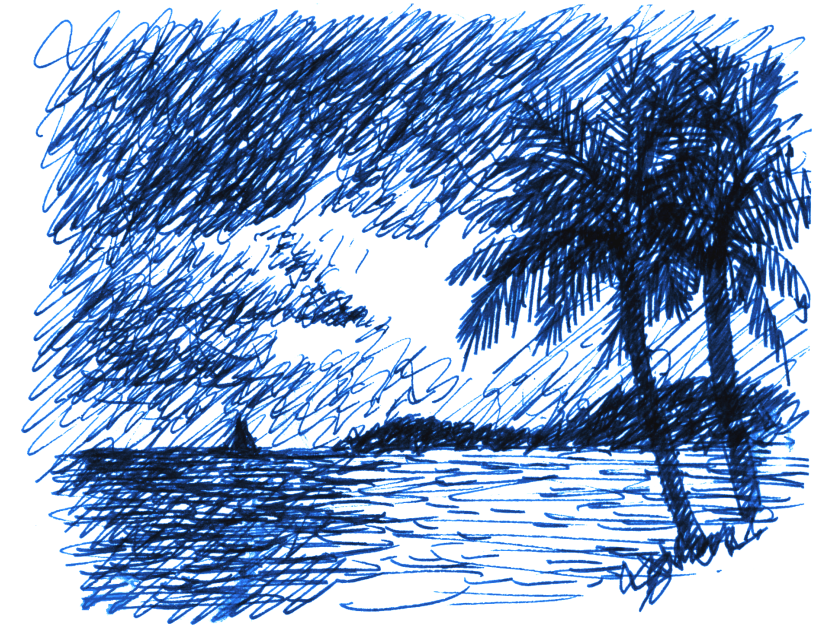
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email: office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会 2024年2月11日

週報



詩篇100:1-4

全地よ 主に向かって喜びの声をあげよ。喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。知れ。主こそ神。主が 私たちを造られた。私たちは主のもの 主の民 その牧場の羊。感謝しつつ 主の門に 賛美しつつ その大庭に入れ。主に感謝し 御名をほめたたえよ。